



Weekly 尾張旭ロータリークラブ

・会長 舟橋龍秀・幹事 松永洋子・公共イメージ向上委員長 熊澤 功
 ・例会日 毎週金曜日 12:30 ・例会場 〒488-0801 尾張旭市東大道町原田 2570-3
 ・事務局 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945
 E-mail : jim@owariasahi-rc.org URL : http://www.owariasahi-rc.org

2020-21 年度地区方針「行動するロータリアン！世界で何かよいことをしよう、TOGETHER！」

本日 第2380回 2020年10月2日(金) No. 2262

本日のプログラム Today's Program

卓話担当者:米山記念奨学委員会

点 鐘 12:30

卓 話 者:米山記念奨学生

オトゴンバードル・ドルジンスレンさん

齊 唱 「君が代」・「奉仕の理想」 演 題:「米山記念奨学生として」

前回 第2379回 2020年9月26日(土) 記 録

月見夜間例会 於ぎゃらりーかふえ華野

○出席者：会員 23 名中 11 名出席 出席率 47.82%

○ゲスト：2020 年度 米山記念奨学生
 オトゴンバードル・ドルジンスレンさん
 テノール歌手 包金鐘 様

会長あいさつ 舟橋 龍秀



今日は、年に1度のお月見例会です。コロナ禍の中、例会場を出ての親睦行事は、久しく中止されていましたが、久しぶりに催されることになりました。中森親睦活動委員長のご尽力に感謝いたします。

さて、十五夜は、旧暦では8月15日とされてきました。月の満ち欠けを基準にした旧暦と太陽の動きを基準にしている新暦では、1年の始まる日も1年の長さも異なります。ちなみに、1年の長さは、旧暦では354日、新暦では365日です。そのため、旧暦と新暦にずれが生じて、実際には、毎年9月中旬から10月上旬の間に十五夜(旧暦8月15日)が来るとされています。また、月の満ち欠け(新月から満月)の周期も約15日ですが、一定ではない

め、十五夜と満月も1~2日程度のずれが生じます。ちなみに、今年の十五夜は10月1日ですが、満月は10月2日になります。

十五夜は「中秋の名月」とも呼ばれます。旧暦では、7月を初秋、8月を仲秋、9月を晩秋として定めていました。従って、「仲秋の名月」と言えば、「8月の名月」と言うことになります。中秋とは、秋の真ん中の日(旧暦8月15日)を指し、従って、十五夜の月は、「中秋の名月」と書きます。

古来、月を愛でる風習がありましたが、十五夜の月見が広まったのは「平安時代」と言われています。貞観年間(859~877年)に中国から日本に伝わり、貴族の間に広がっていきました。当時の貴族は、月を眺めながらお酒を飲んだり、船上で詩歌や管弦を楽しんでいたようです。その後、江戸時代になると、庶民の間にまで十五夜の風習が広まりました。しかし、庶民に広がった十五夜は、収穫祭や初穂祭の意味合いが強くなりました。

お月見といえば、十五夜が一般的ですが、他にも、十三夜、十日夜(とうかんや)があり、合わせて「3月見」と言うそうです。十三夜は十五夜の後にくる旧暦9月13日の月見のことで、栗や枝豆を供えることから、「栗名月」「豆名月」と呼ばれます。今年の十三夜は10月29日です。十三夜の月は、満月が

地域社会の経済/米山月間

	10月9日(金)	10月16日(金)	10月23日(金)	10月30日(金)
例 会 予 定	卓話担当者:宮本 友未さん	卓話担当者:江尻 豪君	卓話担当者:箕輪 良孝君	休 会 定款により休会
	卓話者: "	卓話者: "	卓話者: "	
	演題:「自己紹介」	演題:「雑話」	演題:「徒然」	

少し欠けた形ですが、十五夜に次いで美しい月と言われています。十日夜とは、旧暦 10 月 10 日に行われていた収穫祭のことで、新暦では 11 月 10 日にお祭りをを行うところが多いと言われます。十日夜は、「田の神様が山に帰る日」とも言われ、地の神様に感謝の気持ちを表すための行事とされています。

ちなみに、9 月 24 日が月齢 6,7 の上弦の月、今夜の月齢は、8,7 です。コロナ禍の重苦しい雰囲気、今夜の小宴で少しでも良くできることを祈念して、お月見例会の挨拶といたします。

幹事報告

- ・9/24(木)クラブ米山記念奨学委員長会議
於ホテルキャッスルプラザ 江尻米山記念奨学委員長 山田地区米山記念奨学委員長 出席
- ・9/25(金)第3回地区国際奉仕委員会 於ガバナー事務所会議室 森井地区国際奉仕委員 出席

ニコボックス

○出席者全員からいただきました。ありがとうございました。

舟橋 龍秀君、松永 洋子さん、江尻 豪君
加藤 清久君、田中 祐子さん、桜井 雅博君
谷口 伸夫君、谷口 亜弥さん、西尾 輝久君
古橋 裕志君、箕輪 良孝君

月見例会

【お月見例会】
親睦委員 谷口 亜弥

9 月 26 日の例会は、中森親睦委員長によるお月見例会が、ぎやらりいかふえ華野にて開催されました。

内容は 2 部構成で行われ、第 1 部はモンゴル出身のテノール歌手、包金鐘 (ポウジンズン) さんによる素晴らしい歌声が披露されました。包さんの声量はマイクなくとも駐車場まで響き渡る程で、圧巻のステージとなりました。また、日本人に馴染み深い名曲も多く歌ってくださり、会場からは歓声が沸き、我々の感動が包さんにも十分伝わったことと思います。そして、米山奨学金留学生のドーギーさんと、包さんが同郷という思いがけない偶然も重なり、感動はさらに深まりました。

第 2 部では、会員交流として、クイズ大会を行いました。学校の入試問題もなっているという難題を、皆さんと一緒に楽しみながら考え、非常に楽しいひと時を過ごすことが出来たと感じております。

今年度の親睦会は縮小されておりますが、コロナ禍をわきまえながら慎重に、クラブ内の親睦が深められたらと願います。次回もまた楽しみです。



例会の様子



箕輪君挨拶



テノール歌手
包金鐘 様



加藤直前会長乾杯の挨拶

ガバナー公式訪問レポート

9 月 11 日、名古屋サンプラザシーズンズにて、会場では入り口で検温・消毒等、慎重な配慮の元、無事 4RC 合同の国際ロータリー第 2760 地区 2020-21 年度ガバナー公式訪問が行われました。近日のコロナ禍にも関わらず 73 名が出席し、これも常日頃からの 4RC ロータリークラブの団結力と仲間意識の高さにあると感じ、ロータリークラブの活動に参加する度、益々の誇りと喜びと責任感を噛み締めております。

本日の卓話にて、2020 年 - 21 年度 2760 地区ガバナーの岡部 governor 名前様が、『with コロナ New Normal なクラブ運営を目指して。』を軸に、今年 1 月にサンディエゴの国際協議会本会議にご出席された際の多くの学びを、我々にお話くださいました。ロータリーの奉仕は関わった人の人生をも変えて行きますが、実際に人生がロータリーによって大きく変わった方々の本会議での発表映像を、プロジェクトと共にお話くださいました。

今年度、「ロータリーは機会の扉を開く」とのテーマを掲げられた、ホルガー・クナーク RI 会長の素晴らしい演説の映像の中で、ポリオ根絶は今年度も引き続き最重要事項であり、又、今年度はロータアクトの存在がこれまで以上にクローズアップされていると学びました。ロータリークラブは本来、自クラブが中心であり、各クラブベースでの活動をもっと活性化させることが重要です。「新型コロナに負けてはなりません。」と、ホルガー・クナーク RI 会長はじめ、岡部ガバナー共に熱く語られた姿がとても印象的でした。更には、「行動するロータリアン! 世界で何かよいことをしよう、TOGETHER! ロータリークラブの奉仕が、世界の平和につながって行きます。皆さんに、『機会の扉』は開かれています。」と心強いメッセージをくださいました。地区ビジョンでは、第 2760 地区は「活力のある、個性に満ちた、多様性のある」クラブが活躍できる場所・場面を提案・支援して行くとのことでした。

行動指針の中で、岡部ガバナーは、国際大会への参加を呼びかけられ、今年度は親日国である台湾で、世界のロータリアンと友情を深めていただきたいと願っておられました。

本日の卓話の内容を各クラブが活かし、奉仕活動を進めていけたら、どんなに素晴らしい未来が待っているのでしょうか。日本ロータリークラブ生誕 100 周年の古き良き伝統と、新しい機会の扉が融合した、更なるチャンスを掴むロータリークラブになっていくことが想像できます。New Normal の新たなクラブ運営の仕方に期待しつつ、この度はとても有意義な時間になりましたことを深謝致します。本日の卓話を機に、RI2760 地区は益々の団結が強まるように感じます。そして、未来を担う多くの若者にこそ入会してもらえるような要素を盛り込む、発展的なロータリークラブに繁栄していければと願います。
(投稿者：谷口 亜弥さん)